



**強い気持ちで完成を  
名塩道路城山トンネル現場  
で佐藤渡辺の石井社長**

佐藤渡辺の石井直孝社長は10月28日、国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所発注の「名塩道路城山トンネル舗装工事」（兵庫県西宮市）で安全パトロールを行った。石井社長のほか、近畿支店の藤岡勝巳支店長、長嶋栄治安全環境部担当部長、西日本支店の宮内友孝安全環境部長が参加し

た。パトロールは、安全意識の高揚と災害撲滅を目的とし、工事の進捗状況や安全衛生管理活動を確認した。また、支店幹部職員や作業所職員と4週8休の取り組みについて意見を交換し、働き方改革の推進、健康障害防止に対する意識の向上を図った。

藤岡支店長は「翌週のトンネル内コンクリート舗装の打設が完了後、残工事として薄層カラー舗装、歩道舗装、ガードレール設置工などがあ

安全衛生活動を推進し、最後まで気を緩めることなく無事故・無災害で完成させてほしい」と述べた。石井社長は講評で「翌週のトンネル内コンクリート舗装の打設準備のため、鉄筋組立作業を行っていたが、手順書どおり安全に作業が行われていた。今後の残工事は他業者との輻輳（ふくそう）作業となるため、各社が作業帯と通行帯を明示し、接触事故の防止に努めてほしい。事故を起さないと、起させないという強い気持ちで、無事故で完成を」と呼び掛けた。

